

洋ランの交雑種オンシノブシスの育成品種

1. 試験のねらい

県内の洋ランの育種は盛んだが、マイナークロップについてはほとんど行われていないのが現状である。そこで、花色は艶やかだが日持ちの悪いオンシジュームと、花は貧相だが日持ちのよいイオノプシスを属間交配し、花色にバリエーションがあり、日持ちが良く、切り花や寄せ植え等に利用できるオンシジュームタイプの種及び品種を育成しようとした。

2. 育種の経過

平成2年3月にオンシジューム フレクスオスム(*Oncidium flexuosum*)に属の異なるイオノプシス ギガンテ(*Ionopsis gigante*)を交配した。6月にハイポネックス微粉(6.5-6-19)の0.3%及びショ糖の2%液を寒天で固めた培地には種して、10月に展開葉2枚程度でフラスコから出し、288穴のセルトレイにクリプトモス培地で植え付けて栽培し、同培地で平成3年1月に2号鉢に鉢上げした。平成4年3~5月に初花を調査して、花色が淡い桃色、淡い茶橙色、白色及び黄色のものを選抜した。その後3号鉢に鉢上げし、9月から二番花を調査した。その中で花色が良く、草丈の長い個体を選抜し、「ポコアポコピンク」「ポコアポコオレンジ」「ポコアポコホワイト」「ポコアポコイエロー」の名称で、平成6年3月に種苗登録を出願した。

3. 育成品種の特性

(1) ポコアポコピンク

花色は未展開の花弁は淡黄色だが、完全に展開するまでに淡紫ピンク色に変化する。花序の形は総状で一部複総状になり、イオノプシス同様放射状に伸びるため花序の幅は広い。花数は120個前後で着花数が多く、花型全体はイオノプシスに似ているが、花の大きさはオンシジューム程度に大きい。

(2) ポコアポコオレンジ

花色は、未展開の花弁は浅黄色だが、完全に展開するまでに淡茶橙色に変化する。花序の形は総状で一部複総状になり、イオノプシス同様放射状に伸びるため花序の幅は広い。花数は、150個前後で着花数が多く、花型全体はイオノプシスに似ているが、花の大きさはオンシジューム程度に大きい。

(3) ポコアポコホワイト

花色は未展開の花弁は明緑黄色だが、完全に展開するまでに白色に変化する。花序の形は総状で一部複総状になり、イオノプシス同様放射状に伸びるため花序の幅は広い。

花数は170個前後で着花数が多く、花型全体はイオノプシスに似ているが、花の大きさはオンシジューム程度に大きい。

(4) ポコアポコイエロー

花色は浅黄色で、オンシジュームより柔らかい黄色である。花序の形は総状で一部複総状になり、イオノプシス同様放射状に伸びるため花序の幅は広い。花数は170個前後で着花数が多く、花型全体はイオノプシスに似ているが、花の大きさはオンシジューム程度に大きい。

(担当者 花き部 和久井 隆)

表-1 新品種の形質

品種名	ネアネピンク	ネアネオレンジ	ネアネホワイト	ネアネイエロー
ぎ球茎の高さ	50mm	50mm	58mm	55mm
“ 長径	21mm	24mm	30mm	25mm
“ 短径	10mm	11mm	17mm	14mm
葉の 長 さ	131mm	105mm	121mm	142mm
“ 幅	28mm	31mm	51mm	31mm
“ 厚 さ	0.3mm	0.3mm	0.4mm	0.3mm
花序の 型	総状	総状	総状	総状
“ 長さ	50cm	50cm	53cm	55cm
“ 幅	33cm	35cm	40cm	35cm
花茎の 長さ	35cm	40cm	45cm	45cm
花卉の 地色	ピンク白 (No.9201)	浅 黄 (No.2504)	黄 白 (No.2902)	浅緑黄 (No.2703)
“ 斑の色	鮮赤紫 (No.9208)	鮮赤紫 (No.9208)	— —	— —
“ 裏面色	ピンク白 (No.9201)	黄 白 (No.2701)	黄 白 (No.2902)	淡緑黄 (No.2702)
花色に対する 特記事項	未展開の花弁 は淡緑黄 (No. 2702) だが、 展開すると淡 紫ピンク (No. 9202) になる	未展開の花弁 は浅緑黄 (No. 2703) だが、 展開すると穏 黄ピンク (No. 1010) になる	未展開の花弁 は明緑黄 (No. 2904) だが、 展開すると黄 白 (No.2902) になる	未展開の花弁 は浅緑黄色 (No.2703) で、 展開後も安定 している

() 内は JHSカラーチャート番号